



自律

東広島市立三永小学校
第6学年通信
令和2年6月10日号

～なりたい自分へ、Action!～

～今を大切に～

学校再開後、最初の1週間が過ぎました。臨時休業中は、お子様の生活はもちろん、家庭学習までしっかりと支えてくださり、ありがとうございました。担任による声かけだけでは、子供たちがあれほど内容の濃い予習をしてくることは難しかったと思っています。また、毎日お子様の安全を守るために健康カードの点検等にもご協力いただき、ありがとうございます。

学校では、子供たちは友達との再会を喜び合いながら、全ての時間において、意欲的に過ごしています。学校に子供たちの声がなかった時期と比べると、改めて子供たちあつての学校だと感じました。そのような子供たちが主役の学校にあつて、常に三永小の代表としての自覚と責任が求められるのが6年生です。先日、まだ一列歩行の経験が少ない1年生を優しく導いている姿を見ました。これからも続けてほしい姿でした。また、三永小を象徴する総合表現「ふるさと三永」についても、三密を避けながらパートごとの練習を再開しました。例年と比べて大きく出遅れることになったものの、子供たちはそれを「練習の質」で補おうとやる気を見せています。

卒業に向けて、この仲間と、今しかできないこと、今だからできることを子供たちが経験できるように、担任一同で支えていきます。今後とも、ご協力のほどよろしく願いいたします。ご心配なことがありましたら、いつでもご連絡ください。

☆お知らせとお願い☆

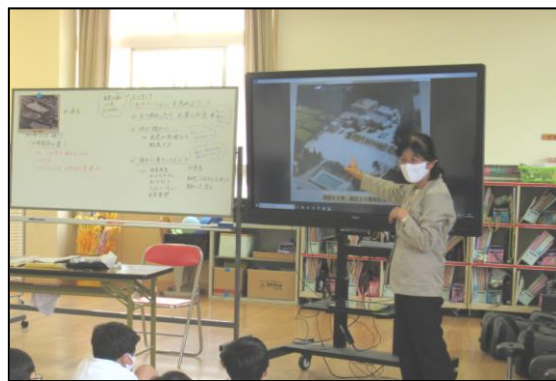
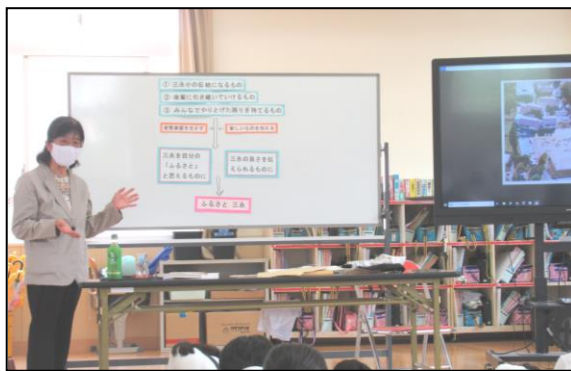
- ☆ 先週、水泳学習についてのお手紙を配付しました。水泳学習が始まるまでに、お子様と一緒にご確認ください。
- ☆ 放課後の過ごし方について、三密を避けること、マスクを着用すること、手洗いやうがいをこまめに行うことなどが、自分や周りの人を守ることに繋がるという話をしています。ご家庭でも、一緒に考えてみてください。よろしく願いいたします。

～初代「ふるさと三永」に思いを馳せて～

9日（火）に、「ふるさと三永」の創設にご尽力された、元三永小学校長の古川純子先生にお越しいただきました。より一層やる気をもって練習に打ち込むため、子供たちからあがった「初代の頃を知っている人に来てお話を聞きたい！」という声が、この活動のきっかけでした。古川先生によって初めて明かされた「ふるさと三永」の誕生の経緯や、それに込められた思い、当時の子供たちの様子などを聞く子供たちの表情は、真剣そのものでした。

ぼくは、どうして「ふるさと三永」が始まったのかとても気になっていたの、古川先生に教えていただいて、とても嬉しかったし、意識も変わりました。ぜったいに「ふるさと三永」を受けつごうと思いました。
(児童のふり返りから)

古川先生のお話を聞いて、地域の人々が協力してくださらなければ、「ふるさと三永」は誕生していなかったと知りました。今、自分は、地域の方々のためにも頑張りたいと思うようになっていきます。
(児童のふり返りから)



集金のお願い



PTA会費	2,400円
国語テスト	450円
学年費	150円
合計	3,000円

※ 6月の集金日は、 です。よろしくお願ひします。